県民だより

1月号 No.273　昭和56年1月1日発行
2月号は2月1日に発行されます。

■編集・発行　静岡県広報課
静岡市追手町9－6　〒420
電話　0542 (21) 2233

◆今月の数字◆

県人口（11月1日現在）

		10月の出生
男	1,696,903人	男 2,115人
女	1,752,279人	女 2,062人
計	3,449,182人	計 4,177人
世帯数	977,977	

9月の家計消費支出
（勤労者世帯）

実　数	222,196円
対前月比	－5.5%
対前年同月比	＋10.4%

11月の消費者物価指数
（50年を100とする）

総　合	140.1
対前月比	＋0.4%
対前年同月比	＋7.8%

掛川東高校で

明日に向かって　確かなねらい

総意と英知で盛り上げる県づくり

あけましておめでとうございます。

県民のみなさんには、ご家族そろってさわやかに新年をお迎えのことと、お慶び申しあげます。

さて、今日からは一九八一年。私たちは、二十一世紀への基礎がためをしていくために、いよいよ新しい世紀を迎えるための見とおしをもたなければならない時代に入ってまいりました。

いま、私たちをとりまく情勢は、石油をはじめとする資源エネルギーの制約と、貿易面での摩擦の増大に対する対応のあり方や、また、急速に進む人口の高齢化、厳しい財政再建への取り組み、さらに私たち県民にとって急務となっている東海地震対策など、どれ一つとっても困難な問題ばかりです。

こうした難問に挑戦しながら生き生きとした静岡県づくりを進めるためには、まず、なによりも三百五十万県民の創意と英知が結集されることが大切でありましょう。

昨年行われました「県政世論調査」の結果や、全市町村で開催しました「県民と話しあう会」でのご意見などからみましても、大方のみなさんが時代の変化を的確にとらえられて、その考え方には従来と比べて大きな前進がみられるようになったと、深く感じいっているところであります。かつてのモノ志向から、心の豊かさを重視し、また、地域への結びつき、連帯を大切にするという考え方が芽ばえてきていることが、はっきりとうかがわれます。

私は、こうしたみなさんの意識の変化を重視しながら、他方、内外情勢をできるだけ正しく受け止め、新しい地域づくりに力を注いでまいりたいと考えております。

もとよりこの地域づくりは、住民と直接結びつく市町村が、地域に根ざした特色ある産業や文化を活かしながら進められるべきものですが、県としても全面的にこれに協力してまいりたいものと考えます。しかし、なんといっても地域づくりの主役は、そこに住むみなさんであり、地域社会をよりよくするための応分の責任をも担っていただきながら、進んで自主的に参加していただくことが大いに期待されます。

東海地震に備えた自主防災組織活動も、このような中で初めて実践的なものとなります。

これからの産業を支える重要な鍵は技術開発です。資源の少ない日本が厳しい貿易摩擦を避け、中進国の追い上げをかわして生きていくためには、高い技術力が必要となります。そうした技術開発の中で、いまIC（集積回路）が「産業の米」として注目されています。これを活用した、例えば、エレクトロニクスと機械工学を結びつけたメカトロニクス、化学と結合したケミトロニクス、あるいは遺伝子工学などが、これからのきわめて重要な産業分野を形成するといわれております。

こうした高い複合技術は、本県の産業界にもやがて、大きな変革をおよぼすものと予想されます。しかし、その過程では、かなりの困難も予想されますが、活力ある新しい産業社会づくりを進めるためには、自治体や民間が一丸となってこれに積極的に対処し、既存の産業のあらゆる分野においても、これらの応用による工夫を進めてまいらなければなりません。

今年も引き続き、県政をとりまく諸環境は、きわめて厳しいものがあります。このため行政の効率化を一段と進めるとともに、思い切った事務事業の見直しを行ってまいります。

しかし、こうした中にあっても、安全な県づくりのために東海地震対策は着実に推進する必要があります。さらに活力ある県づくりのために、技術先端産業の誘導、育成あるいは普及、応用を進め、また国際障害者年に際し、真に恵まれない方がたへの福祉の充実を図るなど、社会経済の変化に即応し、県民の要請に的確に対処するための諸施策を積極的に講じてまいりたいと存じます。

たしかに困難が予想される八十一年ではありますが、みなさんと手を取り合って、地方の時代をひらいていくため、未来への明るい展望が得られる意義ある年にしたいものと思います。

職員一同とともに、できるだけ努力を傾けてまいる所存であります。

一九八一年元旦
静岡県知事　山本敬三郎

県からお知らせ

静岡県婦人大会
―婦人のエネルギーを社会へ―

どなたでも参加できます。
日時　一月二十九日　午前十時三十分から
会場　静岡市民文化会館
内容　●講演「母と子の旅立ち」
放送作家
小山内美江子さん
●欧米婦人の地域参加
―くらしとしつけ―
家庭婦人海外派遣団
●県民提案入選作表彰式
申込受付　当日午前十時から会場で受付
問合せ　県婦人対策室☎〇五四二㉑二一三四　各振興センター、各市町村

暖かい手を被災地へ

アルジェリア、イタリアに相次いで大地震が発生し、死者数千人という大被害をもたらしました。

被災者を救援するため、広くみなさんに募金をお願いしています。

期間　一月十四日まで
受付窓口　市町村役場、日赤県支部、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、けんみんテレビ、第一テレビ
静岡銀行、駿河銀行、清水銀行の各本支店
県地震対策課・被災者救援活動実行委員会
☎〇五四二㉑二〇八八

県立高等農業学園生徒募集

受験資格　中卒程度の男子
募集人員　四十五人
修業年限　二年間
試験日　三月九日
会場　県立高等農業学園
試験科目　筆記、面接
願書受付　二月九日から二十一日
申込み・問合せ　県立高等農業学園
富士宮市原五二三
☎〇五四四㊹〇五〇〇

県立漁業高等学園生徒募集

受験資格　中卒程度　ただし昭和五十六年四月一日現在十九歳未満の男子
募集人員　航海科　二十人
機関科　二十人
修業年限　一年間
試験日　三月九日
会場　県立漁業高等学園
試験科目　筆記、面接
願書受付　二月十九日から二十五日
申込み・問合せ　県立漁業高等学園
焼津市小川汐入
☎〇五四六二㊼〇二一九

ハロー電話相談員（ボランティア）になりませんか

応募資格　三十五歳から五十五歳までの方
活動場所　県庁
募集人員　約二十人
申込期日　一月十七日まで
申込み・問合せ　県教育サービスセンター
☎〇五四二㊺八六八六

"資源エネルギー展"を開きます

エネルギーの開発利用などを実物、模型でわかりやすく展示しています。
期間　一月三十日から二月四日まで
会場　西武百貨店静岡店　八階催事場
内容　●エネルギーの歴史
●くらしとエネルギー
●エネルギーの現状
●明日のエネルギー
●省資源、省エネルギー
●省エネ住宅
問合せ　県資源エネルギー課☎〇五四二㉑二二五六

労働専門講座を開きます

労働問題の専門的知識の講座です。
対象　中小企業の経営者・従業員
日時　二月十三日午後一時から四時まで
会場　静岡市民文化会館
テーマ　「日本経済の展望と労働情勢」＝'81年春闘をめぐる諸問題
方式　パネルディスカッション
講師　高梨　昌氏（信州大教授）
孫田良平氏（日本賃金研究センター）青柳　武氏（毎日新聞論説委員）
受講料　無料
定員　三百人
受付期間　一月七日から三十一日まで
申込み・問合せ　県労政課☎〇五四二㉑二八〇七　または各労政事務所

"コミュニティまつり"にどうぞ

どなたでも参加できる楽しいまつりです。みなさんの参加をお待ちしています。入場無料です。
日時　一月二十日　正午から
会場　静岡市民文化会館大ホール
内容　●歌「ふるさとを歌おう」
藤山一郎氏
●郷土芸能「はいばら太鼓」「富岳太鼓」ほか
●郷土の伝統工芸品展示
当日会場へどうぞ
申込み・問合せ　県コミュニティづくり推進協議会☎〇五四二㊶三五八五　または各振興センター

夢はばたく'81年

75市町村から「おめでとう」

明るい夢、楽しい夢、でっかい望み、ひそかな願い、手堅い計画……今年にかけるみなさんの期待はふくらみます。そんな夢のかずかずを、全市町村から寄せていただきました。あなたの夢はどんなものでしょうか。今年の景気予報は〝薄ぐもり〟とか。そんな予報を吹きとばし、みなさんの夢でパッと明るい年にしませんか。

首振り3年、あと？年

水窪町長尾　井戸口　悦（32歳・国鉄職員）

今年こそはあもちろう、こうもいこうとよく、年がかるとこの思っても、そ実行なるるとかが難しい。昨年から尺八師範資格者生の四下に入り二年常資格者三年、あと？年……今年もがんばろう。

誇り高く山林育成

春野町杉　酒川富雄（32歳・農林業）

国破て山河あり　山村は現在わの国際一の資産だいっても過言ではない。環境問題の面から山林はいかに大切なものか、たとえ強力で国土保全を担う二人であるとの誇りを持って、山林を育てたいと思う。

健康づくりに一役

森町牛飼　村松保子（55歳・町保健委員）

森町では、町まわげ「健康づくりに取り組んです。その主法は健康体操です。急速に押し寄せる高齢化社会の中で、地域住民の健康保持のために、地域ぐるみでがんばろう、年頭にあり誓いを新たにいたします。

夢は安全な温泉郷

熱海市上宿町　岡本久美子（47歳・ホテル経営）

観光地にって〝安心・安全〟こそ一番大切なことです。〝万一の地震対策はもろん、だけでもが、どこからも〟事ん来ていただけるよう、町づくりのために、私たちも努力したい。県内の人たちもがんばってください。

インフレ飛んでけ

御殿場市川島田　嶋田芳子（63歳・漬食料品販売業）

物価の値上がりと人件費の高騰、この追っかけっこ。何年続いたらいいのだろう。国政を預かる議員さん、インフレの問題を、それ以外の問題も、そうそうカタをつけ、解決していただくことを、一億国民は待っています。

絶対優勝するぞ！

小山町中島　山崎ミイ子（32歳・紡織工）

ママさんバレーの仲間がとてもいいんだ。チームワークがピッチりなのになぜか勝負目前で負けてしまう。監督もさぼりが出がいこと。この仲間と、今年のママさんバレーには絶対優勝してみせる？！

夢は安全な温泉郷

熱海市上宿町　岡本久美子（47歳・ホテル経営）

観光地にって〝安心・安全〟こそ一番大切なことです。〝万一の地震対策はもろん、だけでもが、どこからも〟事ん来ていただけるよう、町づくりのために、私たちも努力したい。県内の人たちもがんばってください。

自分に甘えない

佐久間町大井　守屋満智子（24歳・看護婦）

今年こそは決めてもいつもだ思うけれど、柔道による精神力の強化。思うけれど、後悔の毎日である。真の柔道というのは、昨年から尺八師範資格者生の四下に入り二年常資格者三年、あと？年……今年もがんばろう。

良質メロンに闘志

袋井市久能　石黒勉（40歳・農業）

施設園芸は、燃料費の値上がりで、経費の節減に努力し、品質の向上、それに伴う諸費の値上がりで、経費の節減に努力し、品質の向上、それに伴う諸費の値上がりで、高能率の機械の導入によって、高品質の良質メロンを作り、自分のメロンが良品となるよう常に闘志を燃やしたいと思う。

心の時代へ第一歩

掛川市日坂　伊藤智子（48歳・公民館主事）

伝統ある宿場町の歴史を大切にしたい。公民館がコミュニティの場として、皆がれやいを求め交やすを集まれるよう、物よりも心を主題に、力を出し合って、新しい時代への第一歩をふみだしたい。

防災はガッチリ

芝川町羽鮒　水上清明（39歳・鉄工業）

消防隊員三年生いることもあって、神々保育園防災会の指導員となった。この会は昨年九月に結成されたが、本年は地震、風水害、火事に強い会にし、婦人消防隊も実践を〝訓練を積み重ねるべく。

足腰の強い酪農を

富士宮市八穴　佐々木廉（31歳・酪農業）

八十年代は、農業公害、生産調整等、酪農業にとって多くの試練で出発した。幸い四年ぶりは畜産地域の推進が期待される。農場保全及び高度化共同設置に夢を託し、真に足腰の強い酪農をめざしたいのである。

見方ちょっと変え

清水町久米田　渡辺功（33歳・会社員）

人間、生きている限り大勢の人と触れ合う機会を持つわけですが、見方、聞き方、感じ方の角度をちょっと変えると、思わぬ発見をするもの。今年は楽にくれた立場を感じるもの。今後はもっと、〝なるたちの〟を〝ナマモノ〟、その天たぶを助けたい。

良質の牛乳づくり

函南町丹那　石川敏博（34歳・酪農業）

牛乳の生産調整・酪農業も楽ではありませんが、良質・安い牛乳を多くの方に飲んでもらえるよう努力しています。酪農たちは、自然の中で、のびのびと、静かの酪農を発展させたい。

歌を詠み、草を取る

竜山村大槻　鈴木こう（85歳・無職）

あと三年生きて米寿を迎えたし、歌を詠みたく草も取りたい——（こう女）。なかなか子供の幸福にいこうと、やはり、ひとりの思っ新年の朝。

社会で必要な人に

磐田市大久保　鳥居英穂美（18歳・磐田商高3年）

社会に必要とされるようになりたい。つかえる人になりたい。人の為に生きる事をとおして、そのために、まず、自分の考えを明確にし、本を読んで、人生の教訓を捕捉し、本を読んで考える癖がつくように。

非行防止にスクラム

横山守孝（40歳・町教育委員会）

非行社会問題となってしまうのは、大人の責任。特に家庭教育を見直し、今日一日の自分の行動を直して、男としての父、女としての父母をめざ、地域の人達と話し合い、重ねながら実践していきたい。

広げたい婦人会活動

富士川町中之郷　渡辺光枝（65歳・地区都婦人団体連絡会長）

婦人の社会参加・活力が求められて、いろいろな会活動が、ただ単なるのんびりと、地域にとっても、

東部版

新春の足音が聞こえてきます!!

今月は新春にふさわしく、各地で実現しつつある夢のプランや明るい話題を集めてみました。新しい時代への足音が聞こえてくるようですね。

奥野ダムの建設本番！

〈伊東〉

伊東市奥野の「奥野ダム」の本体工事がいよいよ今年から始まります。完成は昭和六十一年二月の予定です。

ここもやがて湖底に

伊東大川（通称松川）は伊東市内を縦断する延長十キロほどの川。アユ釣りやたらい乗り競走で市民に親しまれています。しかし、いったん豪雨になると暴れ川と化し、三十三年の狩野川台風では死者四十二人を出す大被害をもたらしました。

ところが、川岸まで旅館やホテルが立ち並び、大規模な河川改修は不可能な状態。そこで、洪水調節用のダムが計画され、四十三年から調査が進められてきました。

建設場所は河口から約六キロさかのぼった、中伊豆バイパス料金徴収所付近。ロックフィル式の多目的ダムで、高さ六十三メートル、長さ三百二十メートル、有効貯水量は四百六十万立方メートル、県庁東館の五十三ばい分です。

このダムの特長は、わが国最高の耐震性。東海地震にも耐えられる設計です。完成すれば、洪水調節はもちろん、将来予想される伊東市の水不足も解消し、新しい観光の目玉にもなるでしょう。

伊東市の渡辺観光課長は「ダムにはゴンドラを浮かべたり、周囲の自然はそのままに、アスレチックやハイキングコースを設けたり……考えていると夢はふくらむ一方です。これで大室山、一碧湖、奥野ダムと、伊東の観光地は奥行きがでます」と夢を話しています。

初もうでは混雑する時をさけましょう

冬山登山は、余裕ある計画と十分な装備、登山計画書を忘れずに

ズガニが帰ってくる！

〈河津〉

河津町を縦断する河津川はズガニ（モクズガニ）＝写真＝が名物。いかつい姿に似合わず、味は絶品です。しかし近年は乱獲や相次ぐ水害でめっきり数が減り、観光客の注文にも応じきれなくなってきました。

そこで町では昨年、全国にも例のないズガニ増殖作戦に乗り出しました。県水産試験場伊豆分場も全面的にバックアップ。施設を開放し、町派遣の研修生二人の技術指導も引き受けました。

増殖のための人工飼育はわが国では初めて。エサや水温など難問だらけでしたが、スタッフの情熱でこれを一つ一つ解決し、何とか増殖のメドがつきました。

ズガニはふつう、一度に約三十万粒の卵を産みますが自然界で成体に育つのは四、五匹程度。それを今回の飼育テストでは、親ガニ一匹あたり一万五千～二万匹ほどを稚ガニにまで成長させることができました。昨年の八月八日、一センチほどの稚ガニ二一万二千匹が河津川などに放流されました。元気な姿が、やがて見られることでしょう。

町ではこの成功に気をよくして、今年も増殖作戦を予定しています。

民宿を営む島崎一郎さん(58)は「ズガニをループ橋と並ぶ河津の観光の目玉に…」と夢をふくらませていました。

西高がいよいよ開校

〈富士宮〉

四月一日、富士宮市淀師に男女共学普通科校「県立富士宮西高等学校」が開校します。

県立富士宮北高から七百メートルほど北側の高台に、鉄筋コンクリート三階建ての校舎が完成しつつあります。眼下に富士宮市街を一望し、富士山に抱かれたすばらしい環境です。

今年度の募集定員は二百七十人。将来は一学年四百五十人となります。

なお東部地区では、五十八年に田方学区に一校、六十年に沼津・駿東学区と田方学区に一校ずつ、県立高校が新設される予定です。

愛鷹山ろくに運動公園

〈沼津〉

東部地区に運動公園を、という長年の夢が実現しそうです。場所は沼津市の愛鷹山ろく海抜二百メートルほどの地点で、背後には愛鷹山、目の前には千本松原ごしに駿河湾、伊豆半島を一望できるところ。広さは約五十六・七ヘクタール。草薙総合運動場の倍以上です。

施設を主体にするか、公園を主体にするかで意見がわかれていますが、この三月までには結論を出し、近い将来、工事が始められる予定です。

省エネ「婦人」県民提案、入選決まる

寄せられた四百件のアイデア

県が昨年夏、みなさんからアイデアや体験談を募集した「わたしの省資源・省エネルギー」「婦人の参加による新しい地域づくりを進めるための具体策」の入選作品がこのほど決まりました。

集められた提案は両方あわせて四百四件。すぐれたアイデアがたくさん寄せられました。特に優秀なものは、広くみなさんにお知らせする一方、これからの県政に役立てていく考えです。

多くのご提案、ありがとうございました。

◆わたしの省資源・省エネルギー＝応募二百三十七件（募集期間6／下旬～9／10）特賞三件、優秀賞十件、佳作十件、奨励賞二件。

〔特賞〕

▽「ゴミはエネルギーの廃棄である」＝袋井市高尾、竹内宏子(41)主婦

品質認定基準の設置、常設の不要品交換店、詰めかえ売りの拡大など行政への提案と、省包装などの実践例。

▽「我が家の省エネルギー」＝富士宮市立貴船小六年、小泉南月(12)

ムダと節約について、家族で具体的に話しあい、毎月表にしてチェックしている。

▽「私の省エネルギー」＝清水市立有度第一小五年、永田伊津美(11)

勉強は帰宅後すぐにやり、テレビは九時まで。学校でも省エネ係りを決め、エンピツ削りも手動にしたりしている。

〔優秀賞〕

▽「わが家の燃料革命の成果」＝沼津市中沢田、内村一雄(42)市職員

▽「省エネルギーは愛の資源」＝富士市緑町、深見三知代(30)主婦

▽「物のいのちを大切に」＝沼津市神田町、桑原芳子(55)主婦

▽「自作の省エネ温水器」＝島田市本通、塚本彬(70)建築士

▽「わたしの省資源・省エネルギー」＝中川根町立南部小六年、青山永佳(12)

▽「わたしの省資源・省エネルギー」＝清水市日立町、長崎美恵子(42)主婦

▽「私の省資源生活」＝函南町立函南中二年、田中ゆか(14)

▽「私の省エネルギー」＝清水市立有度第一小五年、大石由佳(11)

▽「小さなケチケチ運動」＝菊川町立菊川中三年、村松富子(15)

▽「省エネのおふろ」＝掛川市立西山口小三年、塩崎晴美(9)

（入賞者は二月四、五日に開催される「資源エネルギーシンポジウム」で表彰されます）

◆婦人の参加による新しい地域づくりを進めるための具体策＝応募百六十七件（募集期間8／～9／13）優秀賞四件、佳作六件。

〔優秀賞〕

▽「コミュニティセンターの図書室運営を婦人の手で」＝裾野市深良、高橋とみ(57)主婦

図書室を婦人と子どものふれあいの場、ボランティア活動の学習の場に。

▽「年代別小グループづくりを」＝森町飯田、鈴木ちか(35)主婦

町内会、婦人会の活動の横軸として年代別グループを作りテーマをもって活動している。

▽「町単位にボランティア・リストをつくる」＝浜松市鴨江、片桐恒子(47)主婦

転入者が早く地域にとけこむよう、町内会単位でボランティア・リストを作り活用する。

▽「中高年婦人の能力の活用を」＝焼津市すみれ台、山下邦子(39)主婦

公民館講師、公的機関調査員などの需給の調査と再雇用を公的機関が促進する。

（入賞者は一月二十九日に開かれる「県婦人大会」で表彰されます）　＝敬称略＝

県立身体障害者職業訓練校で

今年は国際障害者年

障害者の社会参加を進めよう

今年は「国際障害者年」。昭和五十一年の国連総会で決定され、障害を持つ人の、社会への〝完全参加と平等〟をテーマにしています。

県内には現在約十万八千人の障害者がいると推定されます。そして脳卒中の後遺症、交通事故や労働災害など、障害者は年年増える一方です。私たちのだれもが障害者になる可能性をもっているといえます。

障害者の社会参加を進めるため、県では、小規模授産所・中途失明者の機能訓練施設・精神薄弱者通勤寮といった施設を作る計画です。

その一つに、今夏着工し来秋完成予定の「総合社会福祉会館」があります。静岡市駿府町の総合庁舎や営林署などの跡地に建設され、地上七階、地下一階の建物の中には、障害者用体育施設、身体障害者福祉センター、研修センター、各種団体の事務局などが設けられる予定です。

もちろん施設を作っても、社会全体の理解がなければ、障害者の社会参加は進みません。残念ながら社会の理解はまだまだたりないようです。例えば、企業の雇用の面でもそれが表われています。

民間企業では、従業員数の一・五%以上、身体障害者を雇わなければならないことが、法律で決められています。しかし実際に、県内企業が雇っている率は平均一・三二%にしか達していません。昨年、県下の身体障害者更生援護施設の卒園者九十九人のうち、就職できたのは二十一人しかありませんでした。

「あしたか太陽の丘」にある県立身体障害者職業訓練校の訓練生、勝又功二さん(20)は「ここを卒業しても私たちを受け入れてくれる企業があるかどうか」と不安を訴えています。

一方、障害者を積極的に採用し、成功している経営者もいます。浜北市のオートバイ部品製造業、小杉弘さん(71)もその一人。従業員百九十八人のうち二十二人の障害者を雇っています。

「訓練には多少時間がかかるけど、慣れれば健常者よりよほど根がよくて、大きな戦力になりますよ。それには、指導者や工場ぐるみの受け入れムードをつくらないとね」と小杉さん。

ここで働くAさんは「お前でなければと認めてくれるので、やる気が出ます」と話してくれました。

体にハンディを負った人でもその能力をいかせる職場がたくさんあるはずです。国際障害者年を契機に、障害者の社会復帰について、みなさんも考えていただけたらと思います。

がんばってます ⑩

ハンディ乗りこえ金メダル

“この感激みんなにも”

百㍍13秒1、走り高跳び1㍍45――昨年の全国身体障害者スポーツ大会で、清水市高橋町の山田満さん(32)が、金メダルを取った時の記録です。

山田さんは、十二歳の時、事故できき腕の左手をひじから切断。それからのご苦労は語り尽くせないでしょうに、それを感じさせないほど、明るくさわやかな男性。市内の塗装店に勤めて十一年になります。

三年前からスポーツに親しみはじめ、勧められて百㍍、走り高跳びで市の大会へ。続いて県大会でも好記録をマーク。全国大会へ出場が決まりました。

それから猛練習を開始。毎夜九時から「人の手を借りずにできる」ランニングを。時には深夜まで、ひたすら走ったそうです。あの見事な記録は、まさに練習のたまもの。

清水市の山田満さん

「本当にすばらしい経験でした。やればできるという実感、合宿や大会での仲間との交流……ぜひ、多くの仲間に体験してほしい」

全国大会に出場できるのは一回限り。でも、後に続く人の励みになれば、と今年も合宿には参加する予定とか。

「今年は国際障害者年。これからは、障害者が自分の力でやってみる時代。それでだめだったら仲間同士助けあう。どうしてもできない時は、他人の力を借りる……今までのように、受身ではだめなんですね」

山田さんは、市の障害者の会の地区役員。昨年、車の免許を取り、休日は引きこもりがちな仲間の家を回ります。

学校、職場と周囲の人の理解で、みんなと同じようにしてきたから「自分を障害者だなんて思ってないです」

夢は、障害者のためのスポーツ指導員。自分のできることで少しでも世の中にお返ししたい――自分の生き方を見直したくなるような、すがすがしく力強い山田さんでした。

（レポート・ママさん特派員　藤田淳子さん）

みんなのひろば

警察音楽隊の出演を依頼するには？

問　浜松市　鈴木和男さん(46)

先日、近くの小学校へ警察音楽隊が訪れ、すばらしい生の演奏を聞かせてくれました。演奏の依頼はどのような手続きをとればよいか教えてください。商店街の売り出しなどにも出演してもらえるでしょうか。

答　警察音楽隊は「県民のみなさんから親しまれる警察」をモットーに、昨年は県内各地で約二百五十回の演奏活動を行いました。

交通安全運動などのパレード、県や市町村が主催する各種行事、小中学校の音楽教室、施設の慰問など、原則として公共的なものに限って出演しています。ご質問の商店街の売り出しのような、営利目的のものや、直接その団体の利益につながるようなものは、たとえ公共団体からの申込みでも、出演しません。

依頼する場合は所轄の警察署警務課か、県警察本部秘書課（☎〇五四二(54)四三五一）までお問い合わせください。

（県警秘書課）

教育映画のフィルムを借りたい

問　富士市　井出善八郎さん(66)

自治会の仕事をしていますが、コミュニティづくりなどに映画を利用したいと考えています。フィルムの貸し出し制度を教えてください。

答　県立中央図書館では約千五百本の教育映画を備え、貸し出しています。内容や種類は、もよりの教育委員会や図書館、公民館、公私立高校、小・中学校などに目録が配布してありますのでごらんください。

貸し出しは一週間以内で一度に六本まで。特に映写資格の有無は問いません。使用料は無料ですが、輸送の場合は輸送費を負担していただきます。

また、東、中、西の県教事務所にも九百本、その他市町村の教育委員会などにも貸し出しフィルムが備えられていますのでご利用ください。

（県立中央図書館　☎〇五四二(62)二二四一）

（この欄に採用の方には記念品をお送りします）

〝中小企業経営相談〟をご利用ください

中小企業総合指導センターでは、経営の合理化・体質強化をはかるため〝中小企業経営相談〟を行っています。

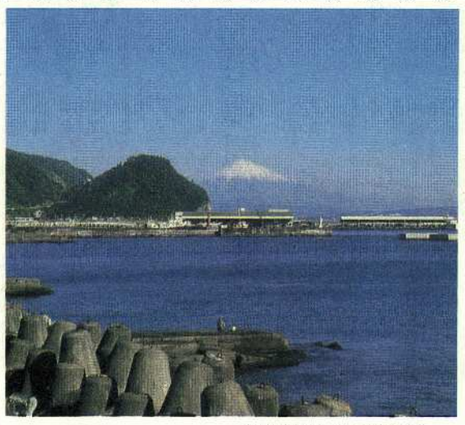
経営上の諸問題（労使問題、経営方針など）について、県内中堅企業の経営者などが豊富な経験をもとに相談に応じます。相談は無料、企業秘密はもちろん厳守します。どうぞお気軽にご利用ください。

申込みと問い合わせは県中小企業総合指導センター静岡市追手町　中小企業会館内☎〇五四二(53)六一六一へ

ふるさと文学の旅 ＝10＝

富士と海と人情と

〈焼津市〉



八雲の愛した海も今は……

乙吉のだるま

「乙吉さん、このだるまさまの左の目は、子どもがつぶしたのですか」

「へえ、へえ」乙吉は上等のカツオをまな板の上へのせながら、気の毒そうににやにやして、「左の目はもとからごぎんせんので……」

（平井呈一訳　小泉八雲作品集第九巻『乙吉のだるま』）

明治の文学者小泉八雲は、本名ラフカディオ・ハーンという英国人。東京帝国大学で英文学を教えていた明治二十九年から毎年のように焼津を訪れ、城之腰の山口乙吉宅二階で夏を過ごしました。

冒頭の会話は、乙吉の家で見つけただるまが、片目しかないので、八雲が驚いているところ。八雲は少年のころ誤って左目を失明し、義眼でした。乙吉が気の毒そうな表情をしたのはそれを知っていたからです。

乙吉のようなこまやかな人情、荒々しい海と端正な富士山――八雲はそんな焼津を終生愛しつづけました。

乙吉の家は昭和四十六年に、愛知県の明治村に移築され、今は跡地に碑が立っています。

県からお知らせ

今月の出張相談

―無料・秘密厳守―

◎移動県民相談室

一月三十日　中伊豆町中央公民館

◎巡回交通事故相談

一月七日　伊東市役所

一月二十日　大仁町役場

一月二十日　中伊豆町中央公民館

相談時間はいずれも午前十時から午後三時まで。

なお県庁西館二階の県民相談室・県交通事故相談所ではいつでも相談に応じています。

危険物取扱者保安講習

危険物取扱者は五年ごとに、県の保安講習を受講することになっています。

日時・会場　一月十七日　日大三島学園

二月十九日　富士市農協会館

どの会場も午前九時三十分から午後四時まで

受講料　千六百円（県証紙）

申込受付　一月七日から十四日まで各市町村危険物安全協会（消防本部内）

申込み　申込書もこちらでどうぞ

問合せ　県危険物安全協会連合会　☎〇五四二(52)五五一一または各市町村危険物安全協会

県の番組

お茶の間で県政を

今月のテーマ　広がる夢を県政に

番組名	放送局・時間	※2～4日	10日	17日	24日	31日
あなたのチャンネル	SBSテレビ 17：00～17：15	新春対談（副知事）―明日の県政を拓く―	新春対談（知事公室長）―コミュニティづくり―	新春対談（民生部長）―これからの福祉―	後継者養成―農林業―	ふるさと紀行―丸子路～宇津谷峠～岡部の宿―
ごぞんじですか	テレビ静岡 11：30～11：45	新春対談（教育長）―教育のあり方―	新春対談（商工部長）―活力ある中小企業―	県政世論調査の中から―いま、県民意識は…―	後継者養成―技能者―	自然と親しむ―早春の愛鷹山―
こんにちは静岡	けんみんテレビ 10：45～11：00	新春対談（知事）―国際障害者年―	新春対談（生活環境部長）―婦人の社会参加―	婦人提案―婦人参加の新しい地域づくり―	後継者養成―水産業―	観光地の紹介―常春の南伊豆―
あなたとひととき	第一テレビ 17：30～17：45	新春対談（都市住宅部長）―魅力ある街づくり―	新春対談（農業水産部長）―豊かな農業に―	県民提案―私の省資源省エネルギー―	後継者養成―中小企業―	豊かな郷土づくり―豊田町西地区の場合は―

※1月第1週は正月特別編成のため次のように放送日時が変わります。
SBSテレビ＝3日10：15～10：30　テレビ静岡＝4日11：00～11：15　けんみんテレビ＝2日10：45～11：00　第一テレビ＝4日16：45～17：00

県政参加テレビ番組	3日 10：30～11：30	SBSテレビ	21世紀への出発～静岡の未来を語る	県出身・在住の各界著名人が政治、経済、文化の各分野の未来ビジョンを大いに語る		
新春知事対談	1日 18：00（15分）	SBSテレビ	大石益光　SBS社長	4日 16：15～16：45	第一テレビ	久保田都淑　報道部長
	2日 7：15～7：45	けんみんテレビ	丸山　健　静大学長	5日 16：30～17：00	テレビ静岡	児玉連　テレビ静岡社長
新春特番	4日 7：00～7：30	第一テレビ	テクノポリスについて	山本県知事、熊谷参議院議員、畦馬浜松テレビ社長		

◎こんにちは県庁です
SBSラジオ
9：30～9：40（月～金）

◎県政だより
有線放送
朝・昼・晩　（月～土）

中部版

今月は新春にふさわしく、各地で実現しつつある夢のプランや明るい話題を集めてみました。新しい時代への足音が聞こえてくるようですね。

初もうでは混雑する時をさけましょう

冬山登山は、余裕ある計画と十分な装備、登山計画書を忘れずに

新春の話題

生まれ変わる奥大井

本川根

SLの終着駅、大井川鉄道千頭駅前に、山小屋風のモダンな建物が日をひきます。昨年オープンした「奥大井自然休養村管理センター」です。

本川根町では五十一年度から四年計画で「奥大井自然休養村」づくりを進めてきました。その休養村の中核となる管理センターができたことで、過疎に悩んできた町は、今大きく姿を変えようとしています。

休養村づくりのねらいは、一口でいえば、産業と観光とをうまく結びあわせ、両方をうまく発展させていこうということです。本川根町の産業といえば、「川根茶」で知られるお茶と林業。ヤマメやマスの養殖なども施設などを作って基盤整備する一方、観光用の茶つみ園を開きます。この茶つみ園では観光客が茶つみから製茶まで直接できるよう考えています。そのほかシイタケ狩り園、釣り堀などを作って観光の目玉にもしようという考えです。これらの産物を観光客に直販するだけでなく、地元の旅館や民宿にも卸すなど観光と産業を結びつけた販売体制をめざしています。

このほかキャンプ場など、大自然を生かした都会人のいこいの場づくりも進めています。

これらのいろいろな施設をうまく結びあわせ、コントロールする〝頭脳〟が管理センターなのです。すでに役場の観光係が常駐して、観光客の案内や宿泊の世話をしています。

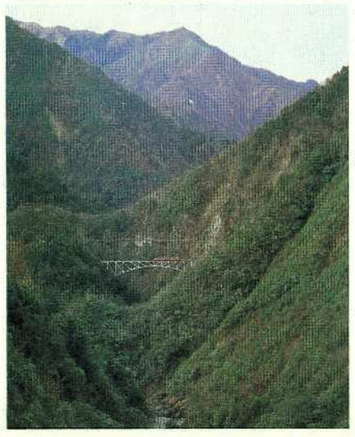
また、これまで観光の目玉といえば寸又峡温泉だけでした。

しかし、このほどもう一つの目玉として、接岨峡温泉「ニュー久保山」がお目見え。これは長島ダム建設にともなう地域開発の一環として作られたものでここを拠点に将来は、寸又峡に負けない温泉街にしようとはりきっています。

あなたもSLとミニ列車に乗って、奥大井の自然を満喫してみませんか。

案内は「奥大井自然休養村管理センター」（☎〇五四七五九・二七四六㈹）がお引き受けします。

奥大井自然休養村管理センターと下は関の沢鉄橋をゆくミニ列車



風車でカラオケ？

御前崎

太陽熱、風力、水力、バイオマス（生物資源）――県は今、このようなローカルエネルギーの開発に取り組んでいます。

その一つとして今度〝太陽とカラッ風の町〟御前崎に白羽の矢を立て、ソーラーシステム、風力発電の実用化のための調査を始めることにしました。

今そのプランを練っているところですが、たとえば国民宿舎御前崎荘では、一番実現性の高いソーラーシステムと風車を選び、管理方法なども研究した上で、建設計画を立てようという考えです。

この計画が軌道に乗れば、御前崎荘に泊まるお客さんは、太陽でわかした風呂に入ったり、温水プールでひと泳ぎ、風がおこした電気でカラオケを楽しみ、風車で海水をくみ上げた釣り堀で太公望としゃれる――ということになるかもしれません。

また、身近なところからどのようにエネルギーが生み出されるか、一般の人にも見学できるようにする計画です。

英語科のある新設高

蒲原

四月一日から蒲原町蒲原に男女共学の「県立庵原高校」が開校します。入学定員は初年度二百六十五人。将来は一学年四百四十五人になります。

この新設校の特色は、普通科のほかに「英語科」があること。英語科のある高校は現在、県内では吉田高校ただ一校です。

場所は新蒲原駅の東約二キロ、国道一号バイパスが大きくカーブする付近です。いま、鉄筋コンクリート造りの校舎が完成しつつあります。

恵まれた自然環境のなかで、人間性豊かな人材の育成をめざすとともに、徹底した語学教育を進める庵原高校。すぐれた国際人を輩出させてくれることでしょう。

省エネと婦人　県民提案の入選決まる

県が昨年夏、みなさんからアイデアや体験談を募集した「わたしの省資源・省エネルギー」「婦人の参加による新しい地域づくりを進めるための具体策」の入選作品がこのほど決まりました。

集められた提案は両方あわせて四百四件。すぐれたアイデアがたくさん寄せられました。特に優秀なものは、広くみなさんにお知らせする一方、これからの県政に役立てていく考えです。多くのご提案、ありがとうございました。

◆わたしの省資源・省エネルギー＝応募一百三十七件（募集期間6／下旬～9／10）特賞二件、優秀賞十件、佳作十件、奨励賞二件。

（特賞）

▽「ゴミはエネルギーの廃棄である」＝袋井市高尾、竹内宏子㈷主婦

品質認定基準の設置、常設の要品交換店、詰めかえ売りの拡大など行政への提案と、省包装などの実践例。

▽「我が家の省エネルギー」＝富士宮市立貴船小六年、小泉南月㈿

ムダと節約について、家族で具体的に話しあい、毎月表にしてチェックしている。

▽「私の省エネルギー」＝清水市立有度第一小五年、永田伊津美㈾

勉強は帰宅後すぐにやり、テレビは九時まで。学校でも省エネ係りを決め、エンピツ削りも手動にしたりしている。

（優秀賞）

「わが家の燃料革命の成果」＝沼津市中沢田、内村一雄㈿市職員

▽「省エネルギーは愛の資源」＝富士市緑町、深見二知代㈳主婦

▽「物のいのちを大切に」＝沼津市神田町、桑原芳子㈤主婦

▽「自作の省エネ温水器」＝島田市本通、塚本彬㈺建築士

▽「わたしの省資源・省エネルギー」＝中川根町立南部小六年、青山永佳㈿

▽「わたしの省資源・省エネルギー」＝清水市日立町、長崎美恵子㈿主婦

▽「私の省資源生活」＝函南町立函南中二年、田中ゆか㈭

▽「私の省エネルギー」＝清水市立有度第一小五年、大石由佳㈾

▽「小さなケチケチ運動」＝菊川町立菊川中三年、村松富子㈮

▽「省エネのおふろ」＝掛川市立西山口小三年、塩崎晴美㈨

（入賞者は二月四、五日に開催される「資源エネルギーシンポジウム」で表彰されます）

◆婦人の参加による新しい地域づくりを進めるための具体策＝応募百六十七件（募集期間8／1～9／13）優秀賞四件、佳作六件。

（優秀賞）

▽「コミュニティセンターの図書室運営を婦人の手で」＝裾野市深良、高橋とみ㈤主婦

図書室を婦人と子どものふれあいの場、ボランティア活動の学習の場に。

▽「年代別小グループづくりを」＝森町飯田、鈴木ちか㈶主婦

町内会、婦人会の活動の横軸として年代別グループを作りテーマをもって活動している。

▽「町単位にボランティア・リストをつくる」＝浜松市鴨江、片桐恒子㈰主婦

転入者が早く地域にとけこむよう、町内会単位でボランティア・リストを作り活用する。

▽「中高年婦人の能力の活用を」＝焼津市すみれ台、山下邦子㈶主婦

公民館講師、公的機関調査員などの需給の調査と再雇用を公的機関が促進する。

（入賞者は一月二十九日に開かれる「県婦人大会」で表彰されます）

＝敬称略＝

がんばってます ⑩

ハンディ乗りこえ金メダル

“この感激みんなにも”

百㍍13秒1、走り高跳び1㍍45――昨年の全国身体障害者スポーツ大会で、清水市高橋町の山田満さん㈳が、金メダルを取った時の記録です。

山田さんは、十二歳の時、事故できき腕の左手をひじから切断。それからのご苦労は語り尽くせないでしょうに、それを感じさせないほど、明るくさわやかな男性。市内の塗装店に勤めて十一年になります。

三年前からスポーツに親しみはじめ、勧められて百㍍、走り高跳びで市の大会へ。続いて県大会でも好記録をマーク。全国大会へ出場が決まりました。

それから猛練習を開始。毎夜九時から「人の手を借りずにできる」ランニングを。時には深夜まで、ひたすら走ったそうです。あの見事な記録は、まさに練習のたまもの。

「本当にすばらしい経験でした。やればできるという実感、合宿や大会での仲間との交流……ぜひ、多くの仲間に体験してほしい」

全国大会に出場できるのは一回限り。でも、後に続く人の励みになれば、と今年も合宿には参加する予定とか。

「今年は国際障害者年。これからは、障害者が自分の力でやってみる時代。それでだめだったら仲間同士助けあう。どうしてもできない時は、他人の力を借りる……今までのように、受身ではだめなんですね」

山田さんは、市の障害者の会の地区役員。昨年、車の免許を取り、休日は引きこもりがちな仲間の家を回ります。

学校、職場と周囲の人の理解で、みんなと同じようにしてきたから「自分を障害者だなんて思ってないです」

夢は、障害者のためのスポーツ指導員。自分のできることで少しでも世の中にお返ししたい――自分の生き方を見直したくなるような、すがすがしく力強い山田さんでした。

（レポート・ママさん特派員　藤田淳子さん）

清水市の山田満さん

今年は国際障害者年

障害者の社会参加を進めよう

今年は「国際障害者年」。昭和五十一年の国連総会で決定され、障害を持つ人の、社会への〝完全参加と平等〟をテーマにしています。

県内には現在約十万八千人の障害者がいると推定されます。そして脳卒中の後遺症、交通事故や労働災害など、障害者は年年増える一方です。私たちのだれもが障害者になる可能性をもっているといえます。

障害者の社会参加を進めるため、県では、小規模授産所・中途失明者の機能訓練施設・精神薄弱者通勤寮といった施設を作る計画です。

その一つに、今夏着工し来秋完成予定の「総合社会福祉会館」があります。静岡市駿府町の総合庁舎や営林署などの跡地に建設され、地上七階、地下一階の建物の中には、障害者用体育施設、身体障害者福祉センター、研修センター、各種団体の事務局などが設けられる予定です。

もちろん施設を作っても、社会全体の理解がなければ、障害者の社会参加は進みません。残念ながら社会の理解はまだまだたりないようです。例えば、企業の雇用の面でもそれが表われています。

民間企業では、従業員数の一・五%以上、身体障害者を雇わなければならないことが、法律で決められています。しかし実際に、県内企業が雇っている率は平均一・三一%にしか達していません。昨年、県下の身体障害者更生援護施設の卒園者九十九人のうち、就職できたのは二十一人しかありませんでした。

「あしたか太陽の丘」にある県立身体障害者職業訓練校の訓練生、勝又功二さん⑳は「ここを卒業しても私たちを受け入れてくれる企業があるかどうか」と不安を訴えています。

一方、障害者を積極的に採用し、成功している経営者もいます。浜北市のオートバイ部品製造業、小杉弘さん㈺もその一人。従業員百九十八人のうち二十二人の障害者を雇っています。

「訓練には多少時間がかかるけど、慣れれば健常者よりよほど根気がよくて、大きな戦力になりますよ。それには、指導者や工場ぐるみの受け入れムードをつくらないとね」と小杉さん。

ここで働くAさんは「お前でなければ〟と認めてくれるので、やる気が出ます」と話してくれました。

体にハンディを負った人でもその能力をいかせる職場がたくさんあるはずです。国際障害者年を契機に、障害者の社会復帰について、みなさんも考えていただけたらと思います。

県立身体障害者職業訓練校で

みんなのひろば

警察音楽隊の出演を依頼するには？

浜松市　鈴木和男さん㈹

問　先日、近くの小学校へ警察音楽隊が訪れ、すばらしい生の演奏を聞かせてくれました。演奏の依頼はどのような手続きをとればよいか教えてください。商店街の売り出しなどにも出演してもらえるでしょうか。

答　警察音楽隊は「県民のみなさんから親しまれる警察」をモットーに、昨年は県内各地で約二百五十回の演奏活動を行いました。

交通安全運動などのパレード、県や市町村が主催する各種行事、小中学校の音楽教室、施設の慰問など、原則として公共的なものに限って出演しています。ご質問の商店街の売り出しのような、営利目的のものや、直接その団体の利益につながるようなものは、たとえ公共団体からの申込みでも、出演しません。

依頼する場合は所轄の警察署警務課か、県警察本部秘書課（☎〇五四二㈤四三五一）までお問い合わせください。

（県警秘書課）

教育映画のフィルムを借りたい

富士市　井出善八郎さん㈹

問　自治会の仕事をしていますが、コミュニティづくりなどに映画を利用したいと考えています。フィルムの貸し出し制度を教えてください。

答　県立中央図書館では約千五百本の教育映画を備え、貸し出しています。内容や種類は、もよりの教育委員会や図書館、公民館、公私立高校、小・中学校などに目録が配布してありますのでごらんください。

貸し出しは一週間以内で一度に六本まで。特に映写資格の有無は問いません。使用料は無料ですが、輸送の場合は輸送費を負担していただきます。

また、東、中、西の県教育事務所にも九百本、その他市町村の教育委員会などにも貸し出しフィルムが備えられていますのでご利用ください。

（県立中央図書館　☎〇五四二㈥二一四一）

（この欄に採用の方には記念品をお送りします）

〝中小企業経営相談〟をご利用ください

中小企業総合指導センターでは、経営の合理化・体質強化をはかるため〝中小企業経営相談〟を行っています。

経営上の諸問題（労使問題、経営方針など）について、県内中堅企業の経営者などが豊富な経験をもとに相談に応じます。

相談は無料、企業秘密はもちろん厳守します。どうぞお気軽にご利用ください。

申込みと問い合わせは県中小企業総合指導センター静岡市追手町　中小企業会館内☎〇五四二㈤六二六一へ

ふるさと文学の旅 ＝10＝

富士と海と人情と

乙吉のだるま〈焼津市〉

八雲の愛した海も今は……

「乙吉さん、このだるまさまの左の目は、子どもがつぶしたのですか」

「へえ、へえ」乙吉は上等のカツオをまな板の上へのせながら、気の毒そうにニヤニヤして、「左の目はもとからございませんで……」

（平井呈一訳　小泉八雲作品集第九巻『乙吉のだるま』）

明治の文学者小泉八雲は、本名ラフカディオ・ハーンという英国人。東京帝国大学で英文学を教えていた明治二十九年から毎年のように焼津を訪れ、城之腰の山口乙吉宅二階で夏を過ごしました。

冒頭の会話は、乙吉の家で見つけただるまが、片目しかないので、八雲が驚いているところ。八雲は少年のころ誤って左目を失明し、義眼でした。乙吉が気の毒そうな表情をしたのはそれを知っていたからです。

乙吉のようなこまやかな人情、荒々しい海と端正な富士山――八雲はそんな焼津を終生愛しつづけました。

乙吉の家は昭和四十六年に、愛知県の明治村に移築され、今は跡地に碑が立っています。

県からお知らせ

今月の出張相談

―無料・秘密厳守―

◎移動県民相談室

一月二十六日　金谷町中央公民館

◎巡回交通事故相談

一月十三日　焼津市民センター

一月二十三日　吉田町老人福祉センター

一月二十六日　金谷町中央公民館

相談時間は四会場とも午前十時から午後三時まで。

なお県庁西館二階の県民相談室・交通事故相談所はいつでも相談に応じています。

危険物取扱者保安講習

危険物取扱者は五年ごとに、県の保安講習を受講することになっています。

日時・会場

二月十三日　県庁西館四階

二月十八日　清水市文化会館

二月二十日　藤枝市文化センター

どの会場も午前九時三十分から午後四時まで

受講料　千六百円（県証紙）

申込受付　一月七日から十四日まで

申込み　各市町村危険物安全協会（消防本部内）申込書もこちらでどうぞ

問合せ　県危険物安全協会連合会☎〇五四二㈤五五一一または各市町村危険物安全協会

今月のテーマ　広がる夢を県政に

お茶の間で県政を　県の番組

番組名	放送局・時間	※2～4日	10日	17日	24日	31日
あなたのチャンネル	SBSテレビ 17：00～17：15	新春対談（副知事）―明日の県政を拓く―	新春対談（知事公室長）―コミュニティづくり―	新春対談（民生部長）―これからの福祉―	後継者養成―農林業―	ふるさと紀行―丸子路～宇津谷峠～岡部の宿―
ごぞんじですか	テレビ静岡 11：30～11：45	新春対談（教育長）―教育のあり方―	新春対談（商工部長）―活力ある中小企業―	県政世論調査の中から―いま、県民意識は…―	後継者養成―技能者―	自然と親しむ―早春の愛鷹山―
こんにちは静岡	けんみんテレビ 10：45～11：00	新春対談（知事）―国際障害者年―	新春対談（生活環境部長）―婦人の社会参加―	婦人提案―婦人参加の新しい地域づくり―	後継者養成―水産業―	観光地の紹介―常春の南伊豆―
あなたとひととき	第一テレビ 17：30～17：45	新春対談（都市住宅部長）―魅力ある街づくり―	新春対談（農業水産部長）―豊かな農業に―	県民提案―私の省資源 省エネルギー―	後継者養成―中小企業―	豊かな郷土づくり―豊田町西地区の場合は―

※1月第1週は正月特別編成のため次のように放送日時が変わります。
SBSテレビ＝3日10：15～10：30　テレビ静岡＝4日11：00～11：15　けんみんテレビ＝2日10：45～11：00　第一テレビ＝4日16：45～17：00

県政参加テレビ番組	3日 10：30～11：30	SBSテレビ	21世紀への出発～静岡の未来を語る	県出身・在住の各界著名人が政治、経済、文化の各分野の未来ビジョンを大いに語る		
新春知事対談	1日 18：00（15分）	SBSテレビ	大石益光　SBS社長	4日16：15～16：45	第一テレビ	久保田都淑　報道部長
	2日 7：15～7：45	けんみんテレビ	丸山　健　静大学長	5日16：30～17：00	テレビ静岡	児玉連　テレビ静岡社長
新春特番	4日 7：00～7：30	第一テレビ	テクノポリスについて	山本県知事、熊谷参議院議員、畳馬浜松テレビ社長		

◎こんにちは県庁です
SBSラジオ
9：30～9：40（月～金）

◎県政だより
有線放送
朝・昼・晩　（月～土）

西部版

今月は新春にふさわしく、各地で実現しつつある夢のプランや明るい話題を集めてみました。新しい時代への足音が聞こえてくるようですね。

新春の話題

夢のテクノポリス　浜松

十年後を目標とした新都市、テクノポリス（高度技術集積都市）構想。本県では浜松市が誘致を名乗りでて、青写真づくりが始まりました。

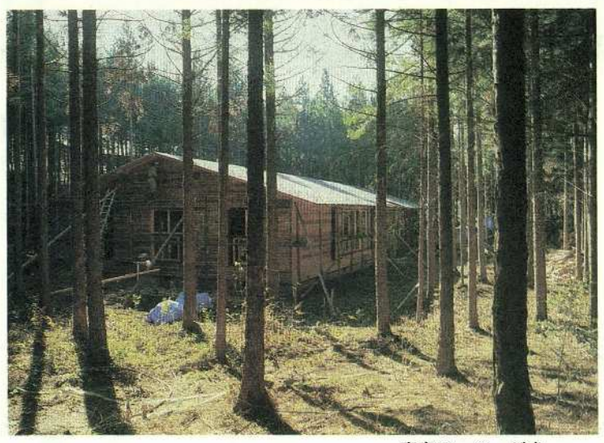
テクノポリスとは、コンピュータや航空機などの技術先端産業を核としたインダストリー・ゾーン（産業区）、工科系大学や研究所などのアカデミー・ゾーン（学術区）、これに従事する人のためのハビテーション・ゾーン（居住区）が一体的に作られた、人口五万人程度の近代都市。総工費五千億円という夢の構想です。

この構想が実現すると、超LSIなどを使った、高度先端技術の産業が生まれ、さらにこれに刺激されて既存企業の高度技術化も進み、地域産業全体が活力をもってくるでしょう。

また、これに伴って、雇用の場も超近代的オフィスや、工場などにも広がることが期待されます。

楽器、オートバイ、繊維と県西部がいま世界に誇る産業は、成熟期に入っているといわれています。さらに発展をめざすには、新しい産業の導入が必要。その意味で、テクノポリスは格好の刺激を与えてくれるはずです。

こうした波が全県下に広がって行けばすばらしいですね。


青春の一ページを……

「高校生山の村」　春野

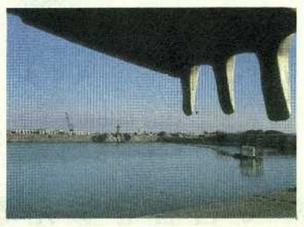
大自然の中で、たくましく豊かな人間性を養おう――春野町杉に今、高校生山の村の建設が急ピッチで進められています。

約四十ヘクタールの林の中に造られ、オープンはこの七月。五百人収容の宿泊棟、多目的ホールなどが建てられ、ハイキングコースや緑の広場も設けられる予定です。

建設には高校生自らも参加、春野高校生は森林の保護、育成に、静岡農高校生は緑化作業に日ごろの学習の成果を発揮します。ここではオリエンテーリング、木工作業などを自主的に行えるのも特色です。

宿泊は三泊四日が標準。自炊も給食も可能です。この村で過ごす数日間は、きっと青春のよい思い出を残すことでしょう。

沿岸漁業の基地に　福田港



福田漁港が沿岸漁業の基地として生まれ変わろうとしています。

約七百五十メートルの防波提を設け、停泊地まで新たに水深三メートルの航路を造る工事が進められ、五十六年度中には一部使用ができる予定です。

これまでは、太田川を航路として利用していましたが、土砂の推積などで河床が上がり、利用できるのはせいぜい十トンクラスの漁船。台風などの際も付近を航行中の船は御前崎港か舞阪港まで避難しなければなりませんでした。これでは漁業は衰退するばかり。

この工事が完成すれば、五十トンクラスの漁船が入港可能となり、漁業の活発化、安全な操業が約束されます。

また遠州灘沖五キロでは、今九十ヘクタールに及ぶ大規模な人工魚礁の造成を始めています。クロダイ、イサキなどを中心に水揚げ増をねらっています。

将来は、さらに四百トン級の入港が可能な埠頭、さらに周囲の緑を生かした美しい港公園のプランもあり、活気あふれる港へと夢は大きく広がっています。

下水道を計画　磐南

磐田市、福田町、竜洋町、豊田町の一市三町にまたがる「天竜川左岸流域下水道」が、いま計画されています。下水道幹線、終末処理場などだけでも三百二十億円という大計画で、昭和六十年には一部使用開始。昭和七十年に全体が完成というもの。

計画では人口十三万五千人、面積二千八百ヘクタールから出る家庭や事業場の下水を、磐南福田の二幹線を通じて、竜洋町に建設される磐南浄化センターに集めます。ここでは一日に十万六千トンを処理、きれいな水にして放流します。

下水道は水洗トイレなど快適な生活をもたらし、排水による環境汚染を防ぐ、新しい街づくりの基礎。その基礎づくりが始まります。

冬山登山は、余裕ある計画と十分な装備、登山計画書を忘れずに

初もうでは混雑する時をさけましょう

省エネと婦人　県民提案の入選決まる

県が昨年夏、みなさんからアイデアや体験談を募集した「わたしの省資源・省エネルギー」「婦人の参加による新しい地域づくりを進めるための具体策」の入選作品がこのほど決まりました。

集められた提案は両方あわせて四百四件。すぐれたアイデアがたくさん寄せられました。特に優秀なものは、広くみなさんにお知らせする一方、これからの県政に役立てていく考えです。多くのご提案、ありがとうございました。

◆わたしの省資源・省エネルギー＝応募二百三十七件（募集期間6／下旬～9／10）　特賞二件、優秀賞十件、佳作十件、奨励賞二件。

〔特賞〕

▽「ゴミはエネルギーの廃棄である」＝袋井市高尾、竹内宏子(41)主婦

品質認定基準の設置、常設の不要品交換店、詰めかえ売りの拡大など行政への提案と、省包装などの実践例。

▽「我が家の省エネルギー」＝富士宮市立貴船小六年、小泉南月(12)

ムダと節約について、家族で具体的に話しあい、毎月表にしてチェックしている。

▽「私の省エネルギー」＝清水市立有度第一小五年、永田伊津美(11)

勉強は帰宅後すぐにやり、テレビは九時まで。学校でも省エネ係りを決め、エンピツ削りも手動にしたりしている。

〔優秀賞〕

▽「わが家の燃料革命の成果」＝沼津市中沢田、内村一雄(42)市職員

▽「省エネルギーは愛の資源」＝富士市緑町、深見三知代(30)主婦

▽「物のいのちを大切に」＝沼津市神田町、桑原芳子(55)主婦

▽「自作の省エネ温水器」＝島田市本通、塚本彬(70)建築士

▽「わたしの省資源・省エネルギー」＝中川根町立南部小六年、青山永佳(12)

▽「わたしの省資源・省エネルギー」＝清水市日立町、長崎美恵子(42)主婦

▽「私の省資源生活」＝函南町立函南中二年、田中ゆか(14)

▽「私の省エネルギー」＝清水市立有度第一小五年、大石由佳(11)

▽「小さなケチケチ運動」＝菊川町立菊川中三年、村松富子(15)

▽「省エネのおふろ」＝掛川市立西山口小三年、塩崎晴美(9)

（入賞者は二月四、五日に開催される「資源エネルギーシンポジウム」で表彰されます）

◆婦人の参加による新しい地域づくりを進めるための具体策＝応募百六十七件（募集期間9／1～3／13）優秀賞四件、佳作六件。

〔優秀賞〕

▽「コミュニティセンターの図書室運営を婦人の手で」＝裾野市深良、高橋とみ(57)主婦

図書室を婦人と子どものふれあいの場、ボランティア活動の学習の場に。

▽「年代別小グループづくりを」＝森町飯田、鈴木ちか(35)主婦

町内会、婦人会の活動の横軸として年代別グループを作りテーマをもって活動している。

▽「町単位にボランティア・リストをつくる」＝浜松市鴨江、片桐恒子(47)主婦

転入者が早く地域にとけこむよう、町内会単位でボランティア・リストを作り活用する。

▽「中高年婦人の能力の活用を」＝焼津市すみれ台、山下邦子(39)主婦

公民館講師、公的機関調査員などの需給の調査と再雇用を公的機関が促進する。

（入賞者は一月二十九日に開かれる「県婦人大会」で表彰されます）　＝敬称略＝

がんばってます⑩

ハンディ乗りこえ金メダル

清水市の山田満さん

“この感激みんなにも”

百㍍13秒1、走り高跳び1㍍45――昨年の全国身体障害者スポーツ大会で、清水市高橋町の山田満さん(32)が、金メダルを取った時の記録です。

山田さんは、十二歳の時、事故できき腕の左手をひじから切断。それからのご苦労は語り尽くせないでしょうに、それを感じさせないほど、明るくさわやかな男性。市内の塗装店に勤めて十一年になります。

三年前からスポーツに親しみはじめ、勧められて百㍍、走り高跳びで市の大会へ。続いて県大会でも好記録をマーク。全国大会へ出場が決まりました。

それから猛練習を開始。毎夜九時から「人の手を借りずにできる」ランニングを。時には深夜まで、ひたすら走ったそうです。あの見事な記録は、まさに練習のたまもの。

「本当にすばらしい経験でした。やればできるという実感、合宿や大会での仲間との交流……ぜひ、多くの仲間に体験してほしい」

全国大会に出場できるのは一回限り。でも、後に続く人の励みになれば、と今年も合宿には参加する予定とか。

「今年は国際障害者年。これからは、障害者が自分の力でやってみる時代。それでだめだったら仲間同士助けあう。どうしてもできない時は、他人の力を借りる……今までのように、受身ではだめなんですね」

山田さんは、市の障害者の会の地区役員。昨年、車の免許を取り、休日は引きこもりがちな仲間の家を回ります。

学校、職場と周囲の人の理解で、みんなと同じようにしてきたから「自分を障害者だなんて思ってないです」

夢は、障害者のためのスポーツ指導員。自分のできることで少しでも世の中にお返ししたい――自分の生き方を見直したくなるような、すがすがしく力強い山田さんでした。

（レポート・ママさん特派員　藤田淳子さん）

今年は国際障害者の社会参加を進めよう

今年は「国際障害者年」。昭和五十一年の国連総会で決定され、障害を持つ人の、社会への〝完全参加と平等〟をテーマにしています。

県内には現在約十万八千人の障害者がいると推定されます。そして脳卒中の後遺症、交通事故や労働災害など、障害者は年年増える一方です。私たちのだれもが障害者になる可能性をもっているといえます。

障害者の社会参加を進めるため、県では、小規模授産所・中途失明者の機能訓練施設・精神薄弱者通勤寮といった施設を作る計画です。

その一つに、今夏着工し来秋完成予定の「総合社会福祉会館」があります。静岡市駿府町の総合庁舎や営林署などの跡地に建設され、地上七階、地下一階の建物の中には、障害者用体育施設、身体障害者福祉センター、研修センター、各種団体の事務局などが設けられる予定です。

もちろん施設を作っても、社会全体の理解がなければ、障害者の社会参加は進みません。残念ながら社会の理解はまだまだたりないようです。例えば、企業の雇用の面でもそれが表われています。

民間企業では、従業員数の一・五%以上、身体障害者を雇わなければならないことが、法律で決められています。しかし実際に、県内企業が雇っている率は平均一・三一%にしか達していません。昨年、県下の身体障害者更生援護施設の卒園者九十九人のうち、就職できたのは二十一人しかありませんでした。

「あしたか太陽の丘」にある県立身体障害者職業訓練校の訓練生、勝又功二さん(20)は「ここを卒業しても私たちを受け入れてくれる企業があるかどうか」と不安を訴えています。

一方、障害者を積極的に採用し、成功している経営者もいます。浜北市のオートバイ部品製造業、小杉弘さん(71)もその一人。従業員百九十八人のうち二十二人の障害者を雇っています。

「訓練には多少時間がかかるけど、慣れれば健常者よりよほど根気がよくて、大きな戦力になりますよ。それには、指導者や工場ぐるみの受け入れムードをつくらないとね」と小杉さん。

ここで働くAさんは「お前でなければ〟と認めてくれるので、やる気が出ます」と話してくれました。

体にハンディを負った人でもその能力をいかせる職場がたくさんあるはずです。国際障害者年を契機に、障害者の社会復帰について、みなさんも考えていただけたらと思います。

県立身体障害者職業訓練校で

みんなのひろば

警察音楽隊の出演を依頼するには？

問　浜松市　鈴木和男さん(46)

先日、近くの小学校へ警察音楽隊が訪れ、すばらしい生の演奏を聞かせてくれました。演奏の依頼はどのような手続きをとればよいか教えてください。商店街の売り出しなどにも出演してもらえるでしょうか。

答　警察音楽隊は「県民のみなさんから親しまれる警察」をモットーに、昨年は県内各地で約二百五十回の演奏活動を行いました。

交通安全運動などのパレード、県や市町村が主催する各種行事、小中学校の音楽教室、施設の慰問など、原則として公共的なものに限って出演しています。ご質問の商店街の売り出しのような、営利目的のものや、直接その団体の利益につながるようなものは、たとえ公共団体からの申込みでも、出演しません。

依頼する場合は所轄の警察署警務課か、県警察本部秘書課（☎〇五四二(54)四三五一）までお問い合わせください。

（県警秘書課）

教育映画のフィルムを借りたい

問　富士市　井出善八郎さん(66)

自治会の仕事をしていますが、コミュニティづくりなどに映画を利用したいと考えています。フィルムの貸し出し制度を教えてください。

答　県立中央図書館では約千五百本の教育映画を備え、貸し出しています。内容や種類は、もよりの教育委員会や図書館、公民館、公私立高校、小・中学校などに目録が配布してありますのでごらんください。

貸し出しは一週間以内で一度に六本まで。特に映写資格の有無は問いません。使用料は無料ですが、輸送の場合は輸送費を負担していただきます。

また、東、中、西の県教育事務所にも九百本、その他市町村の教育委員会などにも貸し出しフィルムが備えられていますのでご利用ください。

（県立中央図書館☎〇五四二(62)二二四一）

（この欄に採用の方には記念品をお送りします）

〝中小企業経営相談〟をご利用ください

中小企業総合指導センターでは、経営の合理化・体質強化をはかるため〝中小企業経営相談〟を行っています。

経営上の諸問題（労使問題、経営方針など）について、県内中堅企業の経営者などが豊富な経験をもとに相談に応じます。

相談は無料、企業秘密はもちろん厳守します。どうぞお気軽にご利用ください。

申込みと問い合わせは県中小企業総合指導センター静岡市追手町　中小企業会館内☎〇五四二(53)六一六一へ

ふるさと文学の旅＝10＝

富士と海と人情と　乙吉のだるま〈焼津市〉

八雲の愛した海も今は……

「乙吉さん、このだるままの左の目は、子どもがつぶしたのですか」

「へえ、へえ」乙吉は上等のカツオをまな板の上へのせながら、気の毒そうにニヤニヤして、「左の目はもとからございませんで……」

（平井呈一訳　小泉八雲作品集第九巻『乙吉のだるま』）

明治の文学者小泉八雲は、本名ラフカディオ・ハーンという英国人。東京帝国大学で英文学を教えていた明治二十九年から毎年のように焼津を訪れ、城之腰の山口乙吉宅二階で夏を過ごしました。

冒頭の会話は、乙吉の家で見つけただるまが、片目しかないので、八雲が驚いているところ。八雲は少年のころ誤って左目を失明し、義眼でした。乙吉が気の毒そうな表情をしたのはそれを知っていたからです。

乙吉のようなこまやかな人情、荒々しい海と端正な富士山――八雲はそんな焼津を終生愛しつづけました。

乙吉の家は昭和四十六年に、愛知県の明治村に移築され、今は跡地に碑が立っています。

県からお知らせ

今月の出張相談――無料・秘密厳守――

◎**移動県民相談室**
一月二十二日　浜北市役所

◎**巡回交通事故相談**
一月九日　湖西市役所
一月十六日　菊川町勤労青少年ホーム
一月二十二日　浜北市役所
一月二十八日　細江町福祉センター

相談時間はいずれも午前十時から午後三時まで。

なお県庁西館二階の県民相談室・県交通事故相談所ではいつでも相談に応じています。

危険物取扱者保安講習

危険物取扱者は五年ごとに、県の保安講習を受講することになっています。

日時・会場　二月二十三日、二十四日　浜松労政会館
両日とも午前九時三十分から午後四時まで

受講料　千六百円（県証紙）

申込受付　一月七日から十四日まで各市町村危険物安全協会（消防本部内）

申込み　申込書もこちらでどうぞ

問合せ　県危険物安全協会連合会☎〇五四二(52)五五一一または各市町村危険物安全協会

お茶の間で県政を　県の番組

今月のテーマ　広がる夢を県政に

番組名	放送局・時間	※2～4日	10日	17日	24日	31日
あなたのチャンネル	SBSテレビ 17：00～17：15	新春対談（副知事）―明日の県政を拓く―	新春対談（知事公室長）―コミュニティづくり―	新春対談（民生部長）―これからの福祉―	後継者養成―農林業―	ふるさと紀行―丸子路～宇津谷峠～岡部の宿―
ごぞんじですか	テレビ静岡 11：30～11：45	新春対談（教育長）―教育のあり方―	新春対談（商工部長）―活力ある中小企業―	県政世論調査の中から―いま、県民意識は…―	後継者養成―技能者―	自然と親しむ―早春の愛鷹山―
こんにちは静岡	けんみんテレビ 10：45～11：00	新春対談（知事）―国際障害者年―	新春対談（生活環境部長）―婦人の社会参加―	婦人提案―婦人参加の新しい地域づくり―	後継者養成―水産業―	観光地の紹介―常春の南伊豆―
あなたとひととき	第一テレビ 17：30～17：45	新春対談（都市住宅部長）―魅力ある街づくり―	新春対談（農業水産部長）―豊かな農業に―	県民提案―私の省資源 省エネルギー―	後継者養成―中小企業―	豊かな郷土づくり―豊田町西地区の場合は―

※1月第1週は正月特別編成のため次のように放送日時が変わります。
SBSテレビ＝3日10：15～10：30　テレビ静岡＝4日11：00～11：15　けんみんテレビ＝2日10：45～11：00　第一テレビ＝4日16：45～17：00

県政参加テレビ番組	3日 10：30～11：30	SBSテレビ	21世紀への出発～静岡の未来を語る	県出身・在住の各界著名人が政治、経済、文化の各分野の未来ビジョンを大いに語る		
新春知事対談	1日 18：00（15分）	SBSテレビ	大石益光　SBS社長	4日16：15～16：45	第一テレビ	久保田都淑　報道部長
	2日 7：15～7：45	けんみんテレビ	丸山　健　静大学長	5日16：30～17：00	テレビ静岡	児玉連　テレビ静岡社長
新春特番	4日 7：00～7：30	第一テレビ	テクノポリスについて	山本県知事、熊谷参議院議員、豊馬浜松テレビ社長		

◎**こんにちは県庁です**
SBSラジオ
9：30～9：40（月～金）

◎**県政だより**
有線放送
朝・昼・晩　（月～土）